

# 海外の動向及び国際的な議論の動向

平成 31 年 2 月  
平 成 3 1 年 2 月  
事 務 局

## Future of Life Institute “BENEFICIAL AGI 2019” 開催 【2019年（平成31年）1月】

- Future of Life Instituteは本年1月2～7日、汎用A I (AGI)のみに焦点を当て、人類にとって最善の未来を築くためにAGIをどのように設計できるかを探るための会議を開催。
- 各分野のステークホルダが集い、技術的な安全性や、戦略・ガバナンス等に関してワークショップ、パネルを実施。

## 米大統領「人工知能における米国のリーダーシップ維持のための大統領命令」署名 【2019年（平成31年）2月11日】

- 米トランプ大統領は本年2月11日、人工知能における米国のリーダーシップ維持のための大統領令（A I イニシアチブ）に署名。
- 大統領は、声明で、「A Iにおける米国のリーダーシップを維持することは、米国の経済及び安全保障にとって極めて重要」としている。
- この大統領命令は、連邦政府におけるA Iの研究開発予算優先化、A Iの研究開発のためのデータ・コンピューティングリソース提供、信頼性・安全性・相互運用性等を備えたA Iシステムの開発促進のための技術基準策定、A I人材育成、米国の優位性保護のための行動計画等から構成。
- 特に、信頼性・安全性・相互運用性等を備えたA Iシステムの開発促進のための技術基準策定については、A Iに係る規制・非規制手法の開発を行う機関に対する覚書の発出をOMB（行政管理予算局）に、A I技術を用いた安全・堅牢なシステムのための技術基準に係る計画の策定をNIST（国立標準技術院）にそれぞれ要求。

## 米国防総省、新たな人工知能戦略を発表 【2019年（平成31年）2月12日】

- 米・国防総省は、「Harnessing AI to Advance Our Security and Prosperity」と題した新たな人工知能戦略を本年2月12日に発表。
- 米国は、同盟国やパートナーとともにAI導入を進めていかねばならないとしており、同国防総省内のAIパイロットプロジェクトは、その運用、トレーニング、維持、人材採用、サイバー攻撃対策等を含めて「共同人工知能センター（JAIC）」が主導・連携するとしている。
- また、軍事倫理とAIによる安全性をリードするとして、これらに対するビジョンや指針の明確化、及び、堅牢性、信頼性、および安全性を高めるための研究開発への投資をしていくことをうたっている。

## OECD AIに関する専門家会合【2018年（平成30年）9月～】

- 経済協力開発機構（OECD）は、A Iに関する専門家会合（AIGO: AI expert Group at the OECD）を設置。2019年中のA Iに関する理事会勧告策定を視野に入れ、A Iの信頼構築と社会実装を促すための原則（To Foster Trust in and adoption of AI）の内容について検討を実施。
- 2019年2月8、9日にドバイにて第4回会合（最終会合）が開催され、信頼されるA Iのための責任あるスチュワードシップに関する原則並びに国内政策及び国際協力において取り組むべき事項について取りまとめ。
- 今後、事務局において専門家会合の結果を踏まえた理事会勧告案を作成、2019年3月に開催されるCDEP（デジタル経済政策委員会）のアドホック会合において勧告案の審議を行い、同年5月の閣僚理事会での公表を目指して作業を進めていく予定。